【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2003-325568(P2003-325568A)
【公開日】平成15年11月18日(2003.11.18)
【出願番号】特願2002-133184(P2002-133184)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｆ　 9/007
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｆ　 9/00　　５９０

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月31日(2005.3.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　変形可能な光学部を有する眼内挿入用レンズを、該光学部に応力をかけない状態で内部に保持する保持手段と、前記レンズを内腔を通して眼内に挿入する挿入筒と、前記レンズを前記挿入筒の先端部開口から眼内に押出す押出機構とを有するレンズ挿入器具を含む眼内挿入用レンズの挿入システムにおいて、
　前記レンズ挿入器具は、前記押出機構により押し出される前記レンズを通過させる際の潤滑剤として前記内腔に注入する物質の注入部を備えると共に、注入量を指示するための指標を有することを特徴とする眼内挿入用レンズの挿入システム。
【請求項２】
　前記指標が粗面であることを特徴とする請求項１に記載の眼内挿入用レンズの挿入システム。
【請求項３】
　前記注入部が、前記挿入筒の先端部開口であることを特徴とする請求項１に記載の眼内挿入用レンズの挿入システム。
【請求項４】
　前記注入部が、前記保持手段側から前記挿入筒側に向かって形成されていることを特徴とする請求項１に記載の眼内挿入用レンズの挿入システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
　【０００６】
　【課題を解決するための手段】
　上記目的を達成するために、本発明は、変形可能な光学部を有する眼内挿入用レンズを、該光学部に応力をかけない状態で内部に保持する保持手段と、前記レンズを内腔を通して眼内に挿入する挿入筒と、前記レンズを前記挿入筒の先端部開口から眼内に押出す押出機構とを有するレンズ挿入器具を含む眼内挿入用レンズの挿入システムにおいて、前記レンズ挿入器具は、前記押出機構により押し出される前記レンズを通過させる際の潤滑剤として前記内腔に注入する物質の注入部を備えると共に、注入量を指示するための指標を有

することを特徴とする。

本発明において、上記指標を粗面としてもよい。また、上記注入部を、挿入筒の先端部開口としてもよい。さらに、上記注入部を、保持手段側から挿入筒側に向かって形成してもよい。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、必要な物質注入量の判断が容易にとなり、必要以上の物質の注入が回避できるため、経済的な効果が得られると共に、注入量の不足により、十分な潤滑効果が得られずに眼内挿入用レンズが破損するなどの不具合解消が可能であるため、誤操作を防止し、操作性と安全性を向上させた眼内挿入用レンズの挿入システムの提供が可能となる。

また、指標を粗面とすることで、注入量をより容易に判断することが可能となる効果がある。

さらに、物質を注入する注入部を挿入筒先端部開口とすることで、眼内挿入用レンズが通過するために物質の注入が必要な挿入筒内に確実、且つ、容易に注入可能となる効果がある。

また、物質を注入する注入部を保持手段側から挿入筒側に向かって形成したので、眼内挿入用レンズが通過するために物質の注入が必要な挿入筒内に確実、且つ、容易に注入可能となる効果がある。